

弱視児童生徒を対象にした拡大教科書の利用実態

--2011年度 全国調査の概要--

中野 泰志（慶應義塾大学）、新井 哲也、大島 研介、吉野 中、花井 利徳、草野 勉

e-mail : nakanoy@z7.keio.jp



目的

教科書バリアフリー法の施行により拡大教科書の発行点数や給与の実績は増加している。2011年度は、小学校の検定教科書280点の内、278点の拡大教科書が発行されるに至っている。しかし、これらの拡大教科書が弱視児童生徒に有効に活用されているかどうか、また、現行の拡大教科書に問題点がないかどうかに関しては、事例的な報告しかなされていない。そこで、これらの拡大教科書の利用実態について、全国調査を実施した。

方法

第1次調査

弱視児童生徒の実態把握のため、全国の市区町村教育委員会等398箇所と盲学校70校にアンケート調査を実施。

第2次調査

第1次調査で明らかになった拡大教科書の給与を受けている弱視児童生徒(1,158人)に対して、アンケート調査を実施。

結果

第1次調査

教育委員会から331件(回収率83.2%)、盲学校から70校(回収率100.0%)の回答。1,158人の弱視児童生徒の存在が判明。

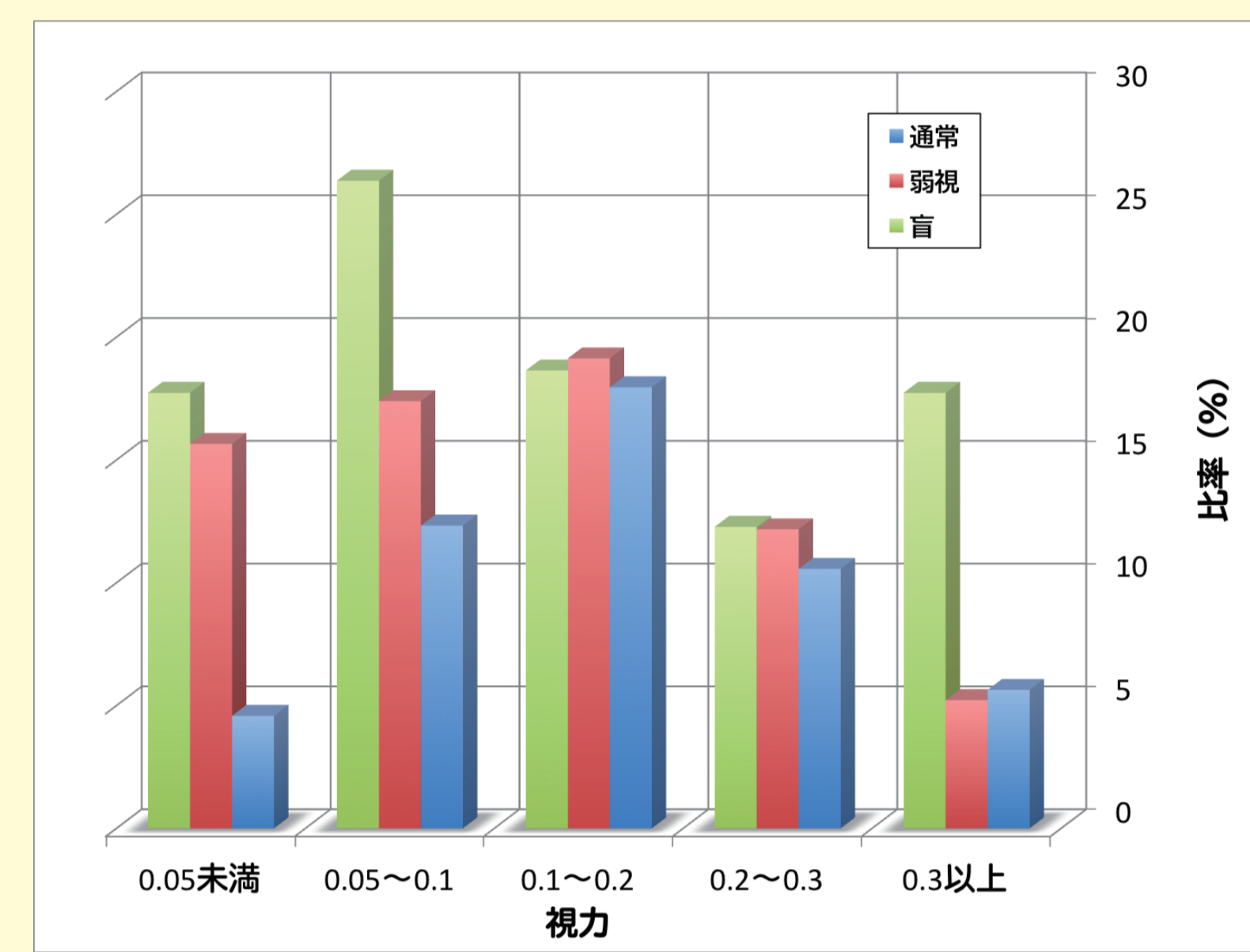
第2次調査

弱視児童生徒935人(通常学級528人、弱視学級187人、盲学校220人)から有効回答あり。以下、主な結果を示す。

【回答者のプロフィール】

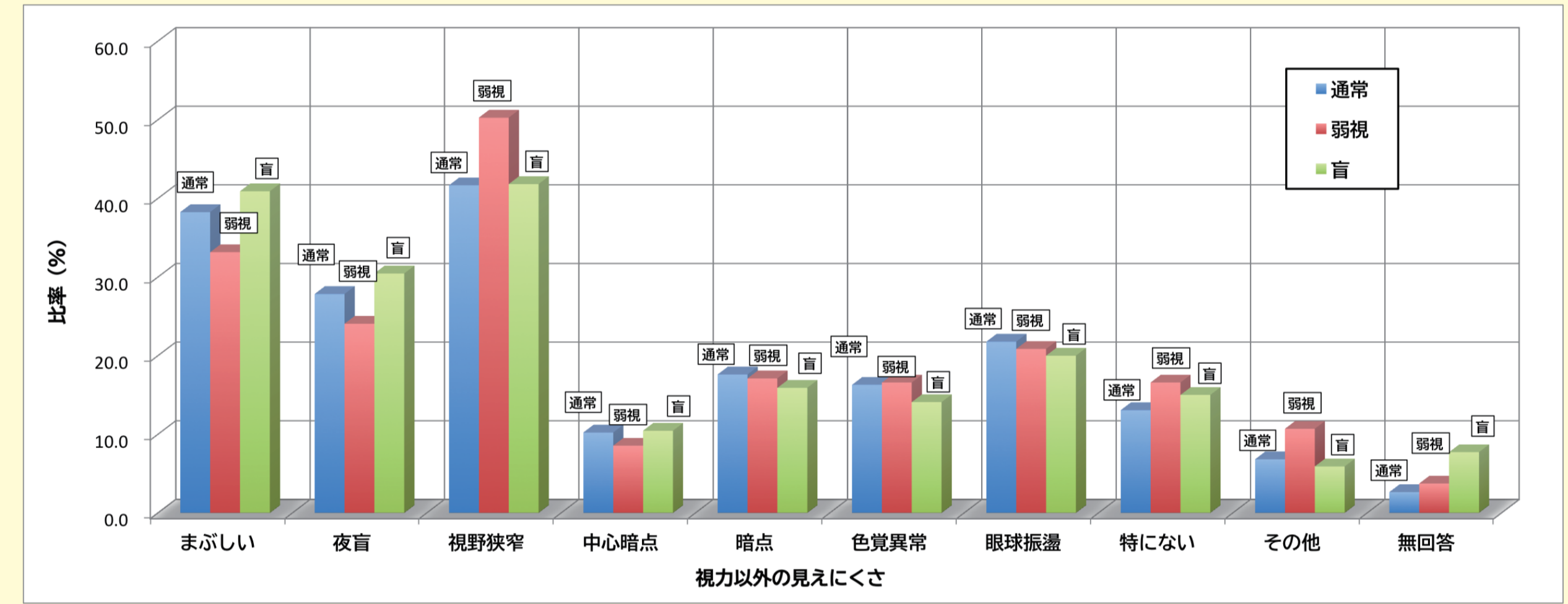
<視力の分布>

		健康診断判定					小計	個別検査判定(健康診断判定が「D」の場合のみ回答)							小計
		A (1.0以上)	B (0.7~0.9)	C (0.3~0.6)	D (0.2以下)	無回答		0.3以上	0.2~0.3	0.1~0.2	0.05~0.1	0.05未満	無回答		
通常学級	小学校	24	19	70	189	59	361	14	21	38	22	9	85	189	
	中学校	10	7	31	95	24	167	2	9	13	13	4	54	95	
	小計	34	26	101	284	83	528	16	30	51	35	13	139	284	
弱視学級	小学校	7	6	30	89	12	144	6	13	14	16	15	25	89	
	中学校	1	1	7	26	8	43	0	1	8	4	3	10	26	
	小計	8	7	37	115	20	187	6	14	22	20	18	35	115	
盲学校	小学部	-	-	-	-	-	-	15	13	20	24	14	4	90	
	中学部	-	-	-	-	-	-	23	13	21	34	25	7	123	
	無回答	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	5	7	
小計	-	-	-	-	-	-	39	27	41	58	39	16	220		



【利用している拡大教科書】

935人が利用している拡大教科書の総数は5,946冊(通常学級3,335冊、弱視学級979冊、盲学校1,632冊)であり、最小値1冊、最大値17冊、最頻値・中央値6冊、平均値6.4冊であった。



<視力以外の見えにくさ>

<児童生徒数と拡大教科書の冊数>

		通常学級		弱視学級		盲学校		合計	
		人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数
小学校	1年	28	155	17	79	11	63	56	297
	2年	34	110	21	54	17	58	72	222
	3年	58	318	24	137	18	107	100	562
	4年	72	366	37	170	16	87	125	623
	5年	74	470	27	127	16	117	117	714
	6年	95	516	18	83	11	71	124	670
中学校	1年	49	551	18	170	32	315	99	1,036
	2年	60	522	17	126	50	462	127	1,110
	3年	57	312	8	33	40	288	105	633
学年無回答	1	15	0	0	9	64	10	79	
冊数無回答	4		1		2		7		
計	528	3,335	188	979	222	1,632	935	5,946	

<利用している拡大教科書の文字サイズ>

	通常学級		弱視学級		盲学校		計	
	冊数	%	冊数	%	冊数	%	冊数	%
18ポイント未満	108	3.2	29	3.0	10	0.6	147	2.5
18ポイント	186	5.6	31	3.2	61	3.7	278	4.7
19~21ポイント	124	3.7	24	2.5	113	6.9	261	4.4
22ポイント	1,256	37.7	365	37.3	936	57.4	2,557	43.0
23~25ポイント	49	1.5	12	1.2	2	0.1	63	1.1
26ポイント	1,103	33.1	330	33.7	322	19.7	1,755	29.5
27ポイント以上	323	9.7	136	13.9	129	7.9	588	9.9
無回答	186	5.6	52	5.3	59	3.6	297	5.0
計	3,335	100.0	979	100.0	1,632	100.0	5,946	100.0

<拡大教科書に対する満足度>

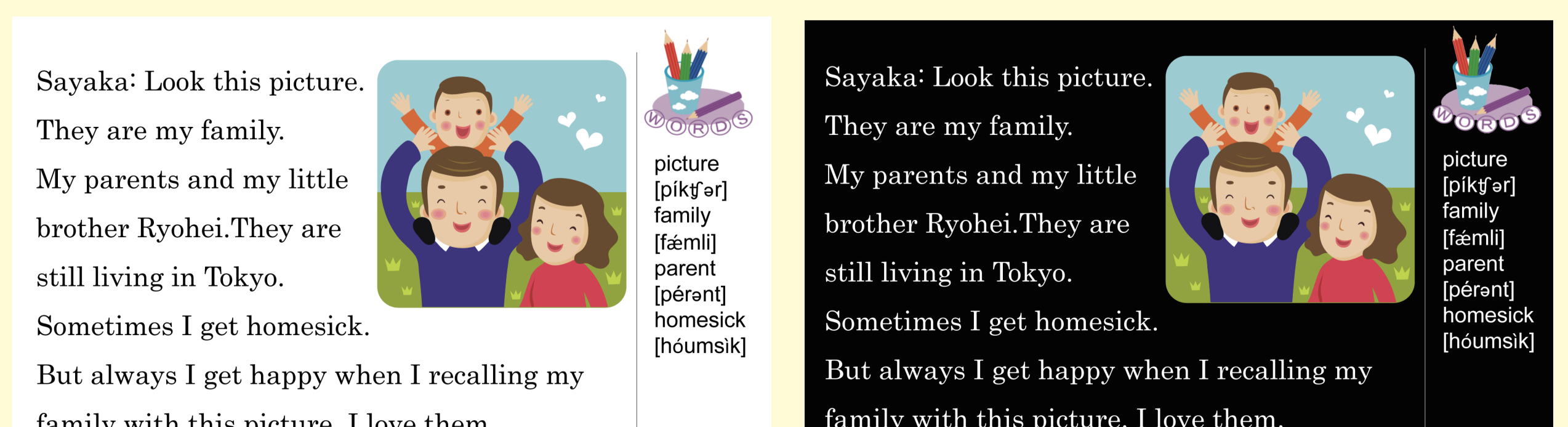
	通常学級		弱視学級		盲学校		計	
	冊数	%	冊数	%	冊数	%	冊数	%
とても満足	1,093	32.8	321	32.8	516	31.6	1,930	32.5
やや満足	1,618	48.5	481	49.1	690	42.3	2,789	46.9
やや不満	347	10.4	101	10.3	252	15.4	700	11.8
とても不満	63	1.9	21	2.1	52	3.2	136	2.3
無回答	214	6.4	55	5.6	122	7.5	391	6.6
計	3,335	100.0	979	100.0	1,632	100.0	5,946	100.0

<改良を希望する点(3,340冊中)>

	冊数	%		冊数	%
教科書が重い	1,409	42.2	色が悪い	127	3.8
教科書が大きい	1,308	39.2	まぶしい	126	3.8
分冊が多い	1,193	35.7	白黒反転になってない	122	3.7
教科書が厚い	1,184	35.4	文字が細かい	105	3.1
ページがわかりにくい	972	29.1	書体が不適切	95	2.8
ページが見えにくい	889	26.6	行間が狭い	60	1.8
図表等の配置が悪い	667	20.0	文字間が狭い	52	1.6
文字が小さい	194	5.8	文章の方向	24	0.7
図表が小さい	180	5.4	その他	245	7.3

<白黒反転の必要性和「まぶしさ」のある児童生徒の割合>

	まぶしい		まぶしくない		無回答		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
反転希望	131	14.1%	121	13%	4	0.4%	256	27.6%
反転不要	215	23.2%	396	42.7%	27	2.9%	638	68.8%
無回答	8	0.9%	21	2.3%	5	0.5%	34	3.7%
計	354	38.1%	538	58%	36	3.9%	928	100%



<提示したサンプル教科書の例>

【謝辞】 本研究は、平成23年度文部科学省教科書課「標準規格の拡大教科書等の作成支援のための調査研究」及び平成22~24年度文部科学省科学研究費基盤研究(B)(課題番号22330261)から研究費の補助を受けて実施した。

報告書URL ↓

